

地域を考え、時代を創る、新しい日本を一緒に作りましょう。



Heart to Heart

率直に語ろう

510
Smile man

後藤しげゆきニュース

2017
秋季号
Vol.43

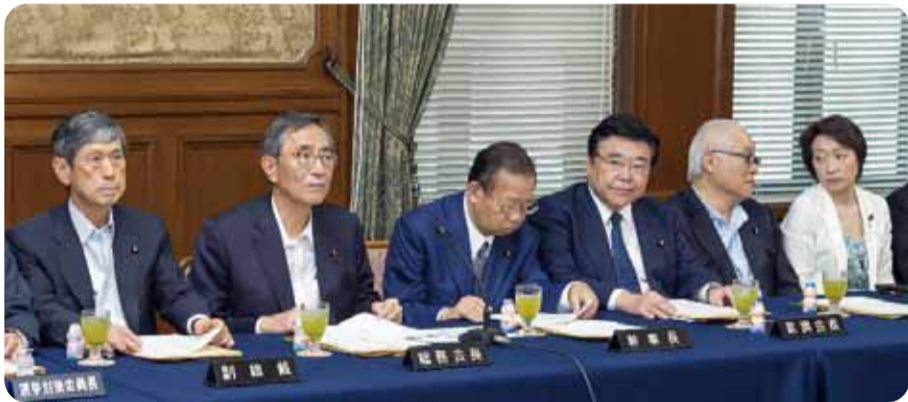
発行／後藤茂之 後援会

[ホームページアドレス] <http://www.510.to> [メールアドレス] goto@510.to

●諏訪事務所／〒392-0017 諏訪市城南 1-2542 ●塩尻事務所／〒399-0738 塩尻市大門七番町 5-12 ●木曾事務所／〒397-0001 木曾郡木曾町福島 2773-1



▲NHK中継の予算委員会で総理に基本姿勢をきく。



▲政調を代表して総務会に出席。



▲総理説明後の記者ぶら下がり会見(官邸)。

日頃より温かい御支援、御協力を賜わり誠にありがとうございます。元気な日本、豊かな地域を目指して、一生懸命働かせていただきます。

襟を正して原点に帰る。

自民党、安倍政権は、襟を正して原点に立ちかえって国民の信頼回復を図らねばなりません。そのためには真摯に説明責任を果たし、謙虚に丁寧に議論することです。

憲法改正は丁寧に議論を。

安倍総理は、五月三日に二〇二〇年の新憲法施行」を打ち出しましたが、八月三日の会見で「憲法改



原点にかえって国民の信頼回復を。

パワーアクション

正の道筋については、日程ありきではない。議論が深まって熟していかなければ憲法改正はできない。」と語り、方針変更を明らかにしました。まず、与党でしっかりと丁寧に議論を進めます。国民のコンセンサスが憲法改正の前提です。

地方経済の回復、地方創生。

アベノミクスにより雇用情勢が回復し、最近では地方でも人手不足だと言われます。あともう一步、「働き方改革」と「イノベーション」により、地方でも実感できる『成長と分配の好循環』を実現します。デフレマインドを脱却し、格差の固定化を防ぐためには、家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもに教育の機会を保障する人づくり改革が重要です。

地域資源を生かした地方創生を応援します。

トピックス

インド・インドネシア訪問。



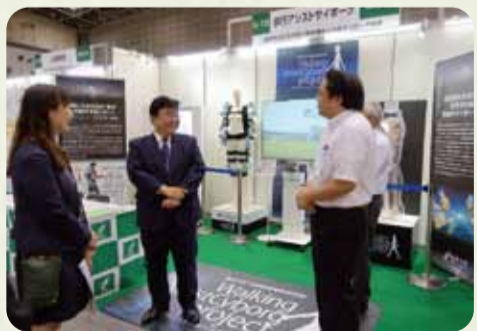
▲スワラジ外相と懇談(インド)。



▲ハスト幹事長(インドネシア)。

政調会長と二人で親日国インド・インドネシアを訪問。機中泊を含む過密スケジュールの中、経済協力に加え、北朝鮮問題、「一帯一路」なども議題に。要人面談の他、日系企業代表者とも懇談するなど意義深い機会でした。《面会した要人》
外相、ゴヤル電力相(以上インド)
ユスフ・カッタ副大統領、プラモノ内閣官房長官、与党ハスト幹事長(以上インドネシア)

第五期科技基本計画を策定。



▲信大の生活支援ロボット「クララ」を視察。



▲油井宇宙飛行士と。

第五期科学技術基本計画委員長として、対GDP比1%の科学技術予算確保を目標とした同基本計画を昨年策定。本年度は、『Society 5.0』実現のために、林文科大臣の後任の科学技術イノベーション活性化小委員長として、研究開発法人・大学などの制度改革を含む『研究開発力強化法』の改正に取り組みます。個別プロジェクトもしっかり応援します。